

赤星

THE SEKISEI (RED STAR/ROTE STERN)

編集 共産主義者同盟 (DER BUND DER KOMMUNISTEN)

発行所 蜂起社 東京都江東区大島3-9-25/TEL 03-5626-8262
発行人 南安明 (関西支社)大阪市北区菅栄町10-10 岸本ビル/TEL 06-6357-6975
(振替) 00120-2-1512 蜂起社・南安明

月刊

9月2001年 No.8 (通巻350号)

本号300円 (毎月1日発行)
年間購読料 1部3000円 (送料別)
(送料) 密封1000円 開封800円

紙面案内

- 1 反グローバリズムの闘い
8・15靖国参拝弾劾闘争
- 2 アメリカの新しい労働運動 (下)
- 3 9・1防災訓練反対闘争/山谷
- 4 連載「試論・ブントと新左翼運動を検証する」蔵田計成

小泉の靖国参拝弾劾

8・15闘争に決起!



8.15 神保町一帯での抗議デモ



8.15 文京区民センターの屋内集会

8月13日、首相・小泉は靖国神社への参拝を強行した。「8月15日には必ず参拝する」と首相就任時から公言していた小泉であったが、アジア諸国からの反発の大きさに動揺し、直前に断念して参拝しないことを公言した。この断念は、参拝するつもりで参拝しないという姑息なやり方であり、参拝しないのだ。さらには8月15日当日は、都知事・石原をほしめ、多くの閣僚、国会議員らが参拝を強行した。こうした暴挙に対して、怒りと弾劾の声が靖国神社に叩きつけられ、右翼の卑劣きまりない暴力を許さず、8・15闘争が山谷をはじめ広範な結集で闘い抜かれた。

まず、午前中は靖国神社に向けた行動が、キリスト者や平和遺族会など多様な団体・個人で結成された実行委の呼びかけで取り組まれた。千鳥ヶ淵の戦没者墓苑前には200人以上が集まり、徒歩で靖国神社へと向かった。第二鳥居前での抗議行動では、神社内外に集結した右翼が参加者に罵声を浴びせ、警備隊の間から殴りかかり、物を投げつけ、横断幕やポールを奪うなどの暴挙に出た。さらに右翼は、第一鳥居前で抗議のビラ情宣を行った「飛び出す靖国行動」のグループにも襲いかかり、一人が救急車で運ばれるケガを負わされた。こうした暴力にむき、靖国神社は怒りと弾劾の声に包囲されたのである。

この取り組みを積極的と呼びかけ、山谷労働者の結集も勝ち取られた。集会では靖国参拝強行を弾劾するとともに、天皇を主役にした「全国戦没者追悼式」を許さず、とりわけ今年8・15「日の丸・君が代」の歴史教科書攻撃と対決する闘いとしてあることが鮮明に打ち出された。正午過ぎに出発したデモでは、神保町から屋内集会の会場である文京区民センターまで、シュプレヒコールを響かせた。屋内集会には240名が参加して、会場全体が熱気にあふれるなか午後2時すぎから始められる。主催者を代表して、天野恵一さんから小泉の靖国参拝をめぐり、侵略戦争の正当化の上に「集団自衛権行使」や改憲発言に見る「新たな戦争」の正当化と「新たな戦没者」の慰霊・追悼が画策され、いかなる形であれ、国家による慰霊を許さぬ闘いが求められているとの提起がなされた。

ローテ・シユテルン

世界を席巻する反グローバリズムの国際連帯行動

全世界で沸き上がり始めた反グローバリズムの声、世界のそしてそれぞれの国の社会の底辺に抑圧され虐げられた人々と連帯しようという行動は、21世紀に入ってから著実に世界史を動かしている。

99年11月の米・シヤトルでのWTO世界貿易機関閣僚会議に対する大規模な抗議行動が展開されて以来、主な国際会議を標的として反グローバリズム運動は世界を席巻しつつある。帝国主義のグローバリズム

△新自由主義政策、そして多国籍企業(独占資本)がカネ・モノ・情報を独占し、一部の国々々々々々に富と繁栄をもたらす一方、いわゆる途上国(後進国)には貧困と債務ばかりを押し付け、暴利をむさぼっている

△新自由主義政策、そして多国籍企業(独占資本)がカネ・モノ・情報を独占し、一部の国々々々々々に富と繁栄をもたらす一方、いわゆる途上国(後進国)には貧困と債務ばかりを押し付け、暴利をむさぼっている

△新自由主義政策、そして多国籍企業(独占資本)がカネ・モノ・情報を独占し、一部の国々々々々々に富と繁栄をもたらす一方、いわゆる途上国(後進国)には貧困と債務ばかりを押し付け、暴利をむさぼっている

△新自由主義政策、そして多国籍企業(独占資本)がカネ・モノ・情報を独占し、一部の国々々々々々に富と繁栄をもたらす一方、いわゆる途上国(後進国)には貧困と債務ばかりを押し付け、暴利をむさぼっている

△新自由主義政策、そして多国籍企業(独占資本)がカネ・モノ・情報を独占し、一部の国々々々々々に富と繁栄をもたらす一方、いわゆる途上国(後進国)には貧困と債務ばかりを押し付け、暴利をむさぼっている

反グローバリズムの闘いと新しい国際主義の旗を!

から集まった約20万人の反グローバリズムを訴えるデモと怒りに包囲され、「艦中のサミット」(実際、高き55のネットが会議場周辺に張り巡らされた)といわれるほどの戒厳令状況で開催された(7月20日

いことたまっている。小泉の「構造改革」は、規制緩和策で民間企業の生産性を高めることを重視し、小さな政府を実現しようとする新自由主義政策。市場原理を徹底させた80年代の英のサッチャリズムの二番

「冷戦」崩壊後、大失業

お知らせ
10月号は10月10日発行に変更します。(編集部)

この講演が終わった直後10数人の右翼が集会破壊のために会場に乱入しようとした。たちだに一歩足りとも入らせぬ態勢が生まれ右翼の敵対は撃退された。警察は、備品を投げつけ、殴りかかると右翼をなだめる程度で、靖国神社前と同様の対応だ。集会は、緊張のなかで最後まで密集して貫徹された。こうした右翼の挑発とテロルはさらに加速するとは間違いない。右翼の挑発を断じて許さぬ構えをもって、ナショナリズムと排除・排斥を撃つ広範な陣形を構築しよう!

赤井 隆樹

《下》 グローバル化経済に抗する 草の根の社会運動の構築

アメリカ

『新しい世紀のための新しい労働運動』 ニュー・ボイス派の主張を読む

横 渡

AFLECIO(アメリカ労働総同盟)産業別組合

会議)に指導部の交代をもち、(1995年10月、アメリカ労働運動に新たな

型・社会契約型から 階級闘争型への転換

旧来のAFLECIOに 対して、マンツィオス

オニズムという枠組み には、労働組合

「AFLECIOは、 サービス機関としての組

り上げることが出来るか どうかにかかっている。

昔のAFLECIOは、 一般組合員が寄り集まっ

て戦闘的になったりすれ ば、労働組合が置き去り

にされるだけだと思われ たのに対し、現AFLECIO

IOは、直接行動に関わ る意志のある草の根組織

「中」に引き続き、「第 一部 民主主義、イデオロ

益の正当な分け前を受け取 るため、有利な力関係をつ

るために闘った。55年か ら79年まで会長だ

ったジョージ・ミーニに 対して、彼マンツィオス

は、「プラグマティズム思 考と旧AFLECIO」と

いう項で、以下のように述 べている。

「プラグマティズムは、 しほは『ビジネス・ユ

ニオニズム』を背後から 支えるイデオロギーであ

る。この『ビジネス・ユニ ズム』という枠組み

「AFLECIOは、 サービス機関としての組

「冷戦下主義の立場を採 持ってきた」とマンツィオ

「社会契約型労働運動の イデオロギーとAFLECIO

IOの現状」という項で、 マンツィオスは、プラグマ

ティズムの影響から脱し て、「社会運動の組織者・

支柱」へと路線転換した現 AFLECIOについて、

その転換は「アメリカ国内 と世界経済の変化がもたら

したものである」とし、も ちろん「労働組合がアメリカ

社会で相応しい地位を得るた めには、労働組合組織は変わ

らねばならない」というのが 根の

「AFLECIOは、社会運動 グローバル化の波が押しよ

「AFLECIOは、社会運動 グローバル化の波が押しよ

せる中で、アメリカ労働運 動の直面している課題につ

いて、「現状のどこが問題 なのか」を指摘し、旧来の

労働組合の組織的連合 体ではなく、活発な社会

運動の支柱とならなければ ならない」と、「ニュー

ボイス」の選挙綱領 は述べられている。

「新しいグローバルな 市場の台頭にもない、

アメリカ企業は国内労働 者の購買力を上げなくとも

生産性や利益を上げるこ とが出来ることがを示

してきた。……アメリカ 企業は、このような流れ

「AFLECIOは、社会運動 グローバル化の波が押しよ

せる中で、アメリカ労働運 動の直面している課題につ

いて、「現状のどこが問題 なのか」を指摘し、旧来の

労働組合の組織的連合 体ではなく、活発な社会

運動の支柱とならなければ ならない」と、「ニュー

ボイス」の選挙綱領 は述べられている。

「新しいグローバルな 市場の台頭にもない、

アメリカ企業は国内労働 者の購買力を上げなくとも

生産性や利益を上げるこ とが出来ることがを示

してきた。……アメリカ 企業は、このような流れ

「AFLECIOは、社会運動 グローバル化の波が押しよ

せる中で、アメリカ労働運 動の直面している課題につ

いて、「現状のどこが問題 なのか」を指摘し、旧来の

労働組合の組織的連合 体ではなく、活発な社会

運動の支柱とならなければ ならない」と、「ニュー

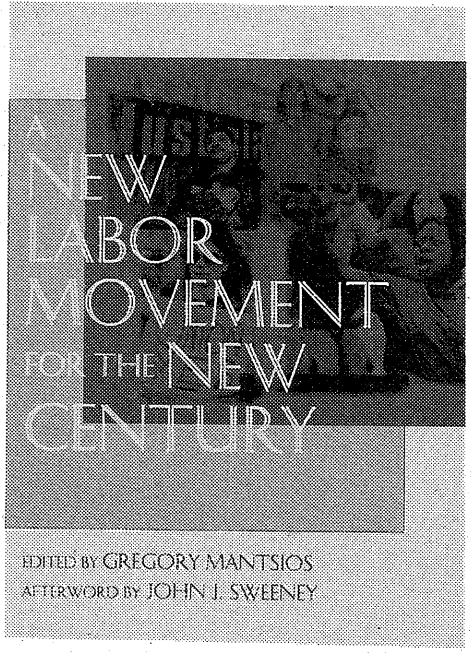
ボイス」の選挙綱領 は述べられている。

「新しいグローバルな 市場の台頭にもない、

アメリカ企業は国内労働 者の購買力を上げなくとも

生産性や利益を上げるこ とが出来ることがを示

してきた。……アメリカ 企業は、このような流れ



NEW LABOR MOVEMENT FOR THE NEW CENTURY
EDITED BY GREGORY MANTSIOS
AFTERWORD BY JOHN J. SWEENEY

「AFLECIOは、社会運動 グローバル化の波が押しよ

せる中で、アメリカ労働運 動の直面している課題につ

いて、「現状のどこが問題 なのか」を指摘し、旧来の

労働組合の組織的連合 体ではなく、活発な社会

運動の支柱とならなければ ならない」と、「ニュー

ボイス」の選挙綱領 は述べられている。

ビッグレスキュー=治安出動訓練許すな 9.1三多摩行動に500名決起

9月1日、「ビッグレスキュー2001」反対行動が三多摩を中心に開かれた。この防災訓練が石原主権による自衛隊の治安出動訓練であることは昨年の結果からも明らかだ。今年も、主な訓練会場を調布、立川、八王子など三多摩地域に設定し、自衛隊は陸海・空の三軍2千人が投入された。昨年を引き続き市街地や河川敷を舞台にした大規模な作戦行動が展開された上に、事前に(7月)いわゆる「図上演習」が都庁などで強行され、米軍横田基地と連携を図り、さらには都立南多摩高校の生徒をボランティアとして動員するといった新たな展開を見ておかなければならない。

訓練会場を視察した石原は、「いざとなったら、警察と消防に加えて、軍がでてきてくれるぞ」という心の連帯を強く持つことができない」とほざけた。当日に起きた新宿の大惨事で防災都市づくりの欠陥をさらけだ



9・1調布市内のデモ

しておきながら、ことさらに報告が述べられた。続いて各地の抗議・監視の取り組みが報告される。そして全体でシブレットビールの後に、市内デモへ。甲州街道では訓練を終えた自衛隊車両に対して弾丸の声を叩きつけた。山谷からは調布の集会・デモに労働者の隊列で結集を勝ち取った。

同日、荒川河川敷では関東大震災78周年・朝鮮人殉難者追悼式が催され、山谷からも参加した。

谷夏まつりを勝ち取る

今夏の山谷夏まつりは、8月4日、山谷玉姫公園を会場に、山谷一隅田上野を結ぶ夏まつりとして成功裡に勝ち取られた。

野宿労働者が奇襲場山谷を包囲する状態を生じさせた大失業時代への突入以降、今年も変わらぬアフレ地獄にありながらも、それを食い破ってしぶとく生き抜く労働者の息吹が再生し始めた。それは文字通り、強



山谷労働団の旗の前に置かれた南さんの遺影

いられた状況を武器に転化するという山谷に蓄積された労働者の闘う力だ。

野宿の長期化で東京東部圏では仮小屋がますます増えている。隅田川を挟んで都内第一の野宿労働者密集区となった台東区、さらに墨田区が新街を抜いて第二の密集区となった事態のなか、行政の対策の遅れを突いて、アルミ缶集めなどの雑業で生き抜く仲間が増えた。

荒川一墨田一山谷から 共同で8・25集会成功

9・1闘争に先立って、「荒川一墨田一山谷からビッグレスキュー(治安訓練)を許さぬ」との共同集会が開催された。この集会で勝ち取られた。この集会は、昨年の白鬚周辺での訓練に対する闘いを貫徹した地域における共同闘争の成果の上に呼びかけられたもので、「関東大震災から学

南さん追悼の会 山谷会館で催す

8月11日、山谷労働者福祉会館に於て南さん(森下政行)追悼の会が催された。南さん(享年54歳)は故・山岡強一氏とともに山谷労働団を創設し、山岡氏が斃れて以降も最前線で闘った戦闘的な活動家であった。

南さんは1946年10月8日、長崎県長崎市に生まれ、68年まで警官であったという異色の経歴を持つ。退職後、柔道場を開きたい想いを抱きながら70年頃より福岡、因の長寿などで日雇労働に従事。ここから底辺・下層の労働実態を身を

別部出身の行商の一行9名が自衛隊に虐殺された事件の真相を掘り起こしてきた経緯を通して、部落差別と民族差別の問題を今日的に問うことの意味が語られた。続いて、「関東大震災に虐殺された朝鮮人の遺骨を発掘し追悼する会」の眞民子さんより、在日韓国人二世として、荒川河川敷の遺骨発掘調査に取り組み、慰霊碑の建設に向けて運動してきた経緯(行政は未だに取り組まず)と、80周年

に向けて歴史の風化を許さず運動を続けてゆきたいとの訴えがなされた。

続いて、荒川、墨田それぞれの地域で運動を取り組んできた解放同盟と在日の方々から、熱意あふれるアピールがなされ、山谷労働団から排除と排外に抗する取り組みをともに創ろうと表明。さらに立川テント村より三多摩における取り組みが呼びかけられた。8・25(9・1)の地平を築き上げていこう。(藤川)

この結果が反映したものだ。さらに、夏まつりをステップに、山谷圏では8・15の反闘争を闘い抜き、防災に名を借った治安出動訓練反対の闘いが、昨年の荒川一墨田一山谷を結ぶ反対の地域からの闘いとして呼びかけられた。

山谷を、反グローバリズムが勝ち取られた。(荒木)

「1995年10月、AFL-CIOの新指導部が選出されて以来、アメリカ労働運動内の変革は歴史的なもので、かつ広範なものである。」「私達は、組合の指導部だけではなく、労働運動そのものの文化やアイデンティティを変えなければならぬ。」「自己批判ができ、組合内の組織化の文化や新しい変革の精神を支援し受け入れるよう組織自体が変わらなければならぬ。」「人種間の緊張が高まり、分裂が進む中、労働運動は、多人数間の団結や進歩的変革の方針を推し進める可能性を秘

もって知り、72年、大向建設争議をきっかけに山谷現場闘争委員会(現闘争)に合流し、山岡氏と出会う。弾圧による現闘委解体以降は雄伏の時を過ごす。歳月を経て79年、磯江洋一氏の決起を受け、山岡氏らと6・9闘争の会を組織した。

80年以降は、6・9山谷労働団(日雇全協)とエネルギーシンクに活動を展開。とりわけ奇襲場を攻撃拠点にしようとした。対国粋会金町戦に突入してからは何度も弾圧を受けながら、労働者の最先頭で闘う南さんの

めた数少ない運動の一つである。今、言葉を行動に変え、多様性を受け入れ、参画を促し、長年の懸案だった社会正義のための運動を創り出す時間に来ている。」「最後の「第5部 国際関係」でバーバラ・シェーラは「彼女はAFL-CIOの国際局長」として、シ・コピアス(全米機械工労組の元委員長)が労働運動が直面している国際的な課題について、とりわけ多国籍企業によるグローバル化の現実について組合員や全労働者を教育して行くような能力と文化を持つことがAFL-CIOには問われているのである。アメリカの労働組合は、自国の労働者と世界中の労働者とのつながりを創り強化しなければならぬ。グローバル化経済の現実からすると、アメリカの労働者のための新しい労働運動は、日々、日本の労働運動を再生させようとする闘争を拡大させる以外にないことは明らかである。……今ほど変革のた

10-7
日時/10月7日(日) 正午
会場/成田市東峰反対同盟所有地
主催/三里塚山連合空港反対同盟

9-30
日時/9月30日(日) 午後1時開場
会場/文京区民センター
主催/9・30臨界被曝事故2周年東京圏行動実行委員会

三里塚全国総決起集会
日時/10月7日(日) 正午
会場/成田市東峰反対同盟所有地
主催/三里塚山連合空港反対同盟

(4面から)
「4面から」という直截な論理の帰結であった。

ところが、現実の階級情勢とその後推移は、総ての闘争指導部の見通しと思惑を遙かに越えていた。大政府自民党の選挙に対して

憤激し、戦後民主主義への危機意識を感じ、闘いへの新しい決意を付加したに過ぎなかった。闘争のうねりは全国各地、国民諸階層に波及していった。(次号へ続く)

稿 寄

試論「ブント」と新左翼運動を検証する

連載第4回 60年安保闘争とブント主義の捉え返し

蔵田計成

第三章 一・一六羽田闘争

六〇年一月十六日夜、激 糾弾集会」の様相を呈して 闘の序幕から五日が経過 きたが、途中でその集をも した。全学連は単独で七百 名が羽田空港ロビーを占拠 して「岸訪米阻止闘争」を 打ち抜いた。その日の闘い が終わってみると、結果的 にはこの全学連の闘いが、 唯一の「岸訪米阻止闘争」 になった。

この条件の下で統一を維 持しながら行動していくた めには慎重な民主的手順が 必要であった当初、国民会 議もいち早く「羽田空港に いたる沿道に大規模な動員 を行つて断固阻止する」と いう方針を決定せざるを得 なかった。ところが、闘争 が近づくにつれて次々とト ンダウンさせ、最後には 飛行機が飛び立った後に、 都心でアライバイ作りのため の「ささやかな「抗議集会」 を行つたに過ぎなかった。

雨の中、夜を徹して正午ま で闘い抜いた全学連は、そ の日比谷野音会場に押し掛 けて国民会議の裏切りを激 しく抗議した。全国各地か らこの日のために集まった 地方の労働活動家の多くも 学生の抗議に賛同し、電源 を切られたマイクを握って アソ演説をする学生に拍手 を送りながら「国民会議

六月一日、先にも触れたよ うにブントが目指した建党 組織路線の前途には、二重 三重の困難が待ち受けてい た。結果的には、困難さは 二つの激闘とその後の過程 における方針と総括を巡る 「裏切り」と断罪し、東 京地評の正式機関と連絡を 絶つて独自路線を追求して いった。外目には、全通年 退局面にも、その限界性が 大きなきずを落としていた。 そもそもポツダム型労働組 合組織は生活と権利を守る ための組織であると共に生 活者集団としての保身的属 性を帯びている。しかもそ の組合は組織の内部に多様 な派閥を内包していた。日 共、民同右派、中労連右 派、社会党右派などの右派 系が混在していた。このよ うな条件下で組合の組織 的統一を維持しながら闘争 を展開していくためには真 重な民主的手順を必要とし た。左派グループの苦悩も この点にあった。左派プロ ロックは羽田闘争に向けて 「羽田抗議集会実行委員会」 を結成して右派プロロックに 抵抗を試みたが、カベを突 き破ることはできず、不発 に終わった。勿論、このよ うな努力は決して徒勞では なかった。下部活動家は中

争を見届けるはずであった 個人的に申し出るという一 人ひとりの闘争を断つた。 五月、六月闘争へ向けてう ち振っていた。

ブント全学連はこのよう な国民会議と総評内部の水 面下の暗闘を一連托生の下 に「裏切り」と断罪し、東 京地評の正式機関と連絡を 絶つて独自路線を追求して いった。外目には、全通年 退局面にも、その限界性が 大きなきずを落としていた。 そもそもポツダム型労働組 合組織は生活と権利を守る ための組織であると共に生 活者集団としての保身的属 性を帯びている。しかもそ の組合は組織の内部に多様 な派閥を内包していた。日 共、民同右派、中労連右 派、社会党右派などの右派 系が混在していた。このよ うな条件下で組合の組織 的統一を維持しながら闘争 を展開していくためには真 重な民主的手順を必要とし た。左派グループの苦悩も この点にあった。左派プロ ロックは羽田闘争に向けて 「羽田抗議集会実行委員会」 を結成して右派プロロックに 抵抗を試みたが、カベを突 き破ることはできず、不発 に終わった。勿論、このよ うな努力は決して徒勞では なかった。下部活動家は中

この闘争が不完全燃焼に 終わった原因は、

第一に、先にも触れたよう に一月の羽田闘争は一見し て孤立していたが、巨 万の民衆の心を体現してい たために、衝撃的なものに なることができた。しかし、 この四・二六闘争は共・総 評の締め付けが奏功して、 国民会議全体の大衆的高揚 が十分な条件下でしか 展開されなかったこと。

第二は、都学連連下自治 会の中で安定的なヘゲモニー を全学的に維持していたの は明治大、東大、女子美大 くらいで、その他の大学で は、反主流派「日共民青と 学部自治会」に激しいつ ばせり合いを演じていた。 とくに、学生運動のメッカ 東大教養学部自治会は、投 票操作によって辛うじて西 部委員長を実現したという 集会所に合流していた。この 例が示すように、「バリ突 破方針」は困難を衝いて決 行された決意の闘争であっ たのである。

なお、四・二六闘争に示 された特徴は以下の五点到 要約できる。

第四章 四・二六国会前 バリケード突破闘争

六〇年安保闘争は批准国 会の終盤局面へ向かった。 四月二十六日、国民会議第 一五次統一行動は、日比谷 公園で集会をした後、旗や プラカードを会場に置き、 一グループ二十名単位で国 会に向けて請願し、その後 で再び会場から都心に向け てデモ行進をした。全学連 はこの行動形態を「お焼香 請願デモ」「羊の行進」と 批判して、自らは「国会正 門前・バリケード突破闘 争」を対置した。ブント中 央政治局はこの闘争に死力 を注ぐすべしと学生、労働 者、ブント同盟員に対して 総動員令を発し、組織の存 亡を賭けて闘った。

（一）労働者の組織的参加 は主観的願望に終わった。 （二）全学連の闘いは流動 化への有効な起爆剤とまで はいかなかったこと。 （三）この闘争が実質的に 証拠は見当たらない。当日

（四）ブントはこの闘争を 残す」という島書記長の名 言が、無念にもこの闘争に 関しては的中した。このセ リフが意味していること は、ブントはこの闘いに自 らの存在を賭けたこと。

第五章 五月闘争

五月になって国会内にお ける野党の攻防は最終段 階に入った。外国では、五 月九日、北京で百二十万 人、全国では十二万五千人 の「日米軍事同盟反対日本 人」のデモ行進が行われた。 支那で「日米軍事同盟反対 日本人民」が行われた。日 本の安保闘争の帰趨は世界 的注目を集めていた。全学 連は四月下旬、「安保阻止 全学連全国総決起、五・一 三全国ゼネスト」、国会構内 大抗議集会」を単独で闘う ことを決定した。「五・一 三」は五月一日の全学連書 記局長は「三千人の革命的 前衛がいれば、権力を奪取 できる」とアジテーション を行った。

幕一を降ろすことになっ た。国民会議指導部は、そ の後の闘争に対する明確な 見通しと展望を持っていな かったため、強行採決とい う不意の一撃によって、あ るては指導機能を失うこ とになった。

これまで、国民会議は構 成十三団体が幹事会を運営 し、闘争の基本的枠組みを 討議し、決定し、推進する という「スケジュール闘 争」を繰り返してきた。政 治党派とは違い運動に対し て直接責任を持たない国民 会議の限界は当然であつ た。予定外の不意の一撃に 対しては脆さを露呈させる を得なかった。さらに、幹 事会に代わって登場した単 産代表者会議も同様であつ た。たんなる現場連絡機関 に過ぎない限り、「お焼香 請願デモ」に代わり戦術的 戦術を期待することは無理 であつた。

全学連「都学連書記局指 導部の戦略の見直しも国民 会議指導部と大同小異であ つた。衆議院通過→自然成 立→安保闘争総決起→闘争 批准を強行採決した。この 結果、日米安保条約は「カ 月後の自然成立を経て発効 することになった。